

隈・竹田地区

隈八坂神社

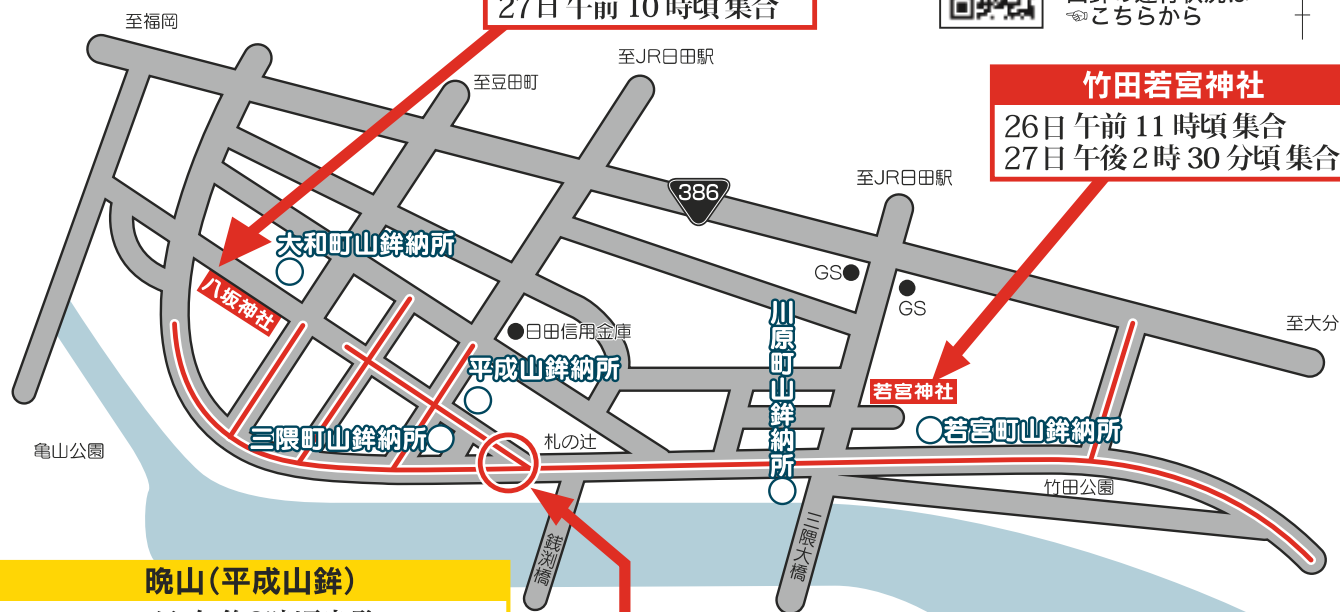
26日午後 3 時頃集合
27日午前 10 時頃集合



山鉾の運行状況は
こちらから

竹田若宮神社

26日午前 11 時頃集合
27日午後 2 時 30 分頃集合



晩山(平成山鉾)

26日 午後8時頃出発
札の辻(折り返し)～黎明館
八坂神社(折り返し)～札の辻(折り返し)

晩山(隈・竹田地区4町山鉾)

27日 午後7時30分頃 札の辻

【隈の起り】

文禄3年(1594年)に、豊後日田・玖珠2万石の蔵入地代官を務めた豊臣秀吉配下の、宮木豊盛(長次郎)が日隈山(現在の亀山公園)に城を築き、その対岸に開いた城下町が起源です。

慶長元年(1596年)には、後に豊後佐伯藩の初代藩主となる毛利高政によって、現在の町割りの原型が作られたと言われています。当時は、現在の中本町、隈1・2丁目を二重の堀と土塁で囲み、要所に木戸門を設けて朝夕に開閉していたと言われています。



川 原 町

川原町山鉾の見送りには、厄払いの神様として知られる素盞鳴尊が剣を振りかざした姿の刺繍がされ、優美な姿を誇っています。

見送り『素盞鳴尊大蛇退治』
平成8年(1996年)制作



三 隈 町

三隈町の山鉾は、町内の皆さんは勿論、町外から協力してくれる方々と一致団結して魂を込めて製作しています。特に提灯の明かりのついた夜の山鉾の趣を皆さんに感じていただきたいと思います。

見送り『龍』
昭和60年(1985年)制作



大 和 町

大和町の山鉾は、平成22年に100年以上巡行した山鉾が勇退し、翌年に高さ10mの山鉾を新調、現在その山鉾が町を巡行しています。今年の山鉾の後ろを彩る見送り幕は大和町三丁目の『麒麟』です。豪華絢爛な山鉾と見送り幕、更には勇壮活発な山鉾巡行を是非ご覧ください。

見送り『麒麟』
明治39年(1906年)制作



若 宮 町

若宮町の山鉾は、昭和12年に一旦途絶えましたが、昭和54年に復活し、平成25年に新調されました。見送りの獅子に負けない迫力の巡行をご覧ください。

見送り『唐獅子』
昭和58年(1983年)制作

